

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2008年 3月	その他	『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書（XIX）』	工藤雄一郎・小林謙一・山本直人・吉田淳・中村俊夫「石川県御経塚遺跡における縄文時代高晩期の土器付着物の ¹⁴ C年代測定」、宮田佳樹・遠部慎・坂本稔・今村峯雄2008「低湿地遺跡における土器付着炭化物の炭素年代測定—内面、外面付着物の年代差と組成作用、淡水リザーバー効果の検討—」、西本寛・高田秀樹・中村俊夫2008「 ¹⁴ C年代測定による石川県真脇遺跡出土環状木柱列の年代決定」、大森貴之・中村俊夫2008「大分県大分市横尾遺跡出土人骨の ¹⁴ C年代測定」
2008年 3月	論文	『古代文化』第59巻第4号	遠部慎・小林謙一・宮田佳樹「近畿地方におけるアカホヤ前後の縄文土器付着炭化物の年代測定—内面、外面付着物の年代差と組成作用、淡水リザーバー効果の検討—」、西本寛・高田秀樹・中村俊夫2008「 ¹⁴ C年代測定による石川県真脇遺跡出土環状木柱列の年代決定」、大森貴之・中村俊夫2008「大分県大分市横尾遺跡出土人骨の ¹⁴ C年代測定」
2008年 3月	論文	『総覧縄文土器』小林達雄編	小林謙一「縄文土器の年代（東日本）」、山本直人「縄文土器の年代（西日本）」
2008年 3月	論文	『縄文時代の考古学 歴史のものさし 縄文時代研究の編年体系』2 同成社	小林謙一「縄文時代の暦年代」
2008年 3月	論文	『研究報告』139集 国立歴史民俗博物館	小林謙一・春成秀爾・坂本稔・秋山浩三「河内地域における弥生前期の炭素14年代測定研究」
2008年 9月	研究発表	『縄文文化の胎動』津南学叢書第8号	吉田邦夫・原辰彰・宮崎ゆみ子・国木田大「縄文時代草創期の年代—越後編—土器付着物の ¹⁴ C年代測定」
2008年 5月	動向	『縄紋時代』19	小林謙一「2007年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2008年 5月	研究発表	『日本考古学協会第74回総会 研究発表要旨』	小林謙一・大網信良・井出上ノ原遺跡研究グループ、「福島県井出上ノ原遺跡の研究」、遠部慎・小林謙一・春成秀爾・西本豊弘、「上黒岩遺跡の年代学的研究」
2008年 6月	単行本	小林謙一・セツルメント研究会編『縄文研究の新地平（続）～堅穴住居・集落調査のリサーチデザイン～』考古学リーダー15 六一書房	小林謙一「AMS ¹⁴ C年代測定を利用した堅穴住居跡研究」、桜井準也「縄文集落研究における二つの時間」、早坂広人「小林発表へのコメント—水子貝塚炭素年代の別解釈—」
2008年 6月	研究発表	『日本文化財科学会第25回大会研究発表要旨集』	小林謙一「日本先史時代火災住居構築材複数試料の炭素14年代測定」、遠部慎・小林謙一・宮田佳樹・坂本稔・西本豊弘「南九州における縄文時代草創期から早期の炭素14年代測定」、住田雅和・黒川忠広・西本豊弘・小林謙一「鹿児島県芝原遺跡出土土器の付着炭化物について」

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2008年 9月	研究発表	『第3回 年代測定と日本文化研究 シンポジウム予稿集』	(株) 加速器分析研究所 2008 「 ¹⁴ C 測定が貢献する環境変動と自然災害の研究」「縄文海進と人々の生活の変遷」
2008年 11月	研究発表	『2008年度愛知大会研究発表資料集』日本考古学協会 2008年度愛知大会	山本直人「縄文時代晩期の貝塚と社会——東海からの展開——絶対年代」
2008年 11月	論文	『白門考古論叢Ⅱ』中央大学考古学研究会創設40周年記念論文集	小林謙一「日本列島における初期定住化遺構の年代測定研究」
2008年 11月	研究発表	『日本植生史学会第23回大会講演要旨集』	工藤雄一郎「更新世から完新世の環境変動とその編年」、國木田大「縄文時代中・後期の環境変動と人間活動」
2008年 11月	論文	『第四紀研究』第47巻第6号	工藤雄一郎・小林謙一・山本直人・吉田淳・中村俊夫「石川県御経塚遺跡から出土した縄文時代後・晩期土器の年代学的研究」
2008年 12月	論文	『Laguna』15 汽水域研究センター	遠部慎・熊谷博志・中島直樹・山内基樹・角縁進・宮田佳樹・米田穰・楠原透・小野勢・小野伸「瀬戸内海新発見の縄文時代早期貝塚——犬島貝塚（小野伸コレクション）の報告——」
2009年 1月	論文	『考古学研究』第55巻第4号	宮地聡一郎「弥生時代開始年代をめぐる炭素14年代測定土器の検討」
2009年 1月	研究発表	『第11回 AMS シンポジウム』名古屋大学年代測定総合研究センター・日本 AMS 研究協会	小林謙一「先史時代堅穴住居出土材の炭素14年代測定」、宮田佳樹・遠部慎・坂本稔・今村峯雄「土器付着炭化物の高精度炭素年代測定——内面効果と吹きこぼれ——」、河村日佐男・賀佐信一・中村哲也・長尾正義・古屋敷則雄・工藤司・中田書矢「青森県における縄文時代中期末葉の AMS による放射性炭素年代測定事例」、工藤雄一郎・佐々木由香「東京都下宅部遺跡から出土した縄文土器付着植物遺体の ¹⁴ C 年代測定」
2009年 3月	論文	『史学』第77巻第4号 慶応義塾文学部三田史学会	小林謙一「米倉大境遺跡出土丸木舟の炭素十四年代測定」
2009年 3月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』149集	小林謙一「 ¹⁴ C 年代測定を利用した縄紋中期堅穴住居の実態の把握」
2009年 3月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』150集	小林謙一・福海貴子・坂本稔・工藤雄一郎・山本直人「北陸地方石川県における縄文晩期から弥生移行期の炭素14年代測定研究」
2009年 3月	単行本	『弥農耕のはじまりとその年代』新弥生時代のはじまり第4巻 西本豊弘編 雄山閣	藤尾慎一郎「弥生時代の実年代」、宮田佳樹「海洋リザーバー効果」
2009年 3月	論文	『名古屋大学文学部研究論集 史学』55	山本直人「環状木柱列から見た縄紋時代晩期の地域社会」
2009年 3月	論文	『古代』第122号	遠部慎・宮田佳樹・小林謙一「堅穴住居覆土における混入の検討」

年	種 別	文 献	著者・論文・特記事項
2009年 3月	論文	『月刊考古学ジャーナル』 No. 583	遠部慎「遺跡速報 岡山市犬島貝塚第1次発掘調査」
2009年 3月	論文	『植生史研究』第17巻第1号	工藤雄一郎, 小林真生子, 百原新「千葉県沖ノ鳥遺跡から出土した縄文時代早期のアサ果实の ¹⁴ C年代」, 工藤雄一郎, 小林謙一, 江原英「栃木県小山市寺野東遺跡から出土した縄文時代後・晩期の木組遺構の高精度年代測定」
2009年 5月	動向	『縄紋時代』20	小林謙一「2008年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2009年 5月	研究発表	『日本考古学協会第75回総会 研究発表要旨』	遠部慎・小林謙一「縄文時代温暖化への道程—西日本における草創期後半から早期にかけての炭素14年代測定—」, 小林謙一「日本列島における土器初現期の諸問題」
2009年 7月	研究発表	『日本文化財科学会第26回大会研究発表要旨集』	小林謙一「日本先史時代堅穴住居の炭素14年代測定研究」
2009年 9月	研究発表	『シンポジウム「第4回年代測定と日本文化研究」(株)加速器分析研究所』	本村勝彦「縄文晩期遺跡出土木柱の年輪年代学的解析による編年とフローティング・クロノロジーの作成」, 早瀬亮介「発掘調査におけるサンプリングの実践と遺跡形成過程の研究2」, 小林謙一「東日本における縄紋弥生移行期の年代測定研究」, 町田賢一「富山県における縄文時代の ¹⁴ C年代について」
2009年 9月	論文	『南の縄文・地域文化論考 新東見一代表還暦記念論文集』南九州縄文通信 No. 20	遠部慎「円筒形貝殻土器群の炭素14年代測定」, 小林謙一「鹿児島県における縄紋時代後半期の年代測定事例」
2009年 9月	論文	『考古学研究』第56巻第2号	村本周三「北海道における縄文時代中・後期の「平地住居跡」とその暦年代」
2009年 9月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』154集	春成秀爾・小林謙一編「愛媛県上黒岩遺跡の研究」, 遠部慎「上黒岩遺跡の押型土器の炭素14年代測定」, 小林謙一, 遠部慎「上黒岩遺跡の炭化材・貝類の炭素14年代測定」
2009年 9月	論文	『吉田学記念文化財科学研究助成基金 研究論文誌 まなぶ』第2号	小林謙一「 ¹⁴ C年代測定の対象とした土器付着炭化物の検討—縄紋後期千葉県西根遺跡を例として—」
2009年 10月	その他	『考古学ジャーナル』No. 591	小林謙一 2009「炭素14年代と考古学教育」
2009年 10月	その他	国立歴史民俗博物館図録	『国立歴史民俗博物館企画展「縄文はいつから!?—1万5千年前になにがおこったのか—」国立歴史民俗博物館

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2009年 12月	論文	Radiocarbon 51 (4)	Reimer P. J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Aroslav V Kuzmin, The Origin of Pottery in East Asia and Its Relationship to Environmental Changes in the Late Glacial, Tomoko Ohta, Yasunori Mahara, Takumi Kubota, Yu Saito, Satoshi Fukutani, Toshiyuki Fujii, Atsushi And2010, Riji Nakata, TaKanori Nakano, Yoshiro Abe, Akira Tatematsu, Radio-nuclides in Ancient Relics Obtained from the Matuzaki Site and the Hirohata Shellmound on the Pacific Coast of Japan,
2010年 2月	論文	『季刊東北学』第22号	山本典幸「縄文土器研究の現状と魅力」
2010年 3月	論文	『東北芸術工科大学東北文化研究センター研究紀要』9	國木田大・吉田邦夫・辻誠一郎・福田正宏「押出遺跡のクッキー状炭化物と大木式土器の年代」、安齋正人「円筒下層式土器期の構造変動」
2010年 3月	その他	『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書』XXI, 名古屋大学年代測定総合研究センター	宮田佳樹・南雅代・松崎浩之・西本豊弘・中村俊夫「貝の炭素年代測定値が示す意味」、西本寛・高田秀樹・木村勝彦・中村俊夫「縄文晩期における環状木柱列の形成時期」
2010年 3月	論文	『名古屋大学文学部研究論集 167』史学 56	山本直人「縄文時代晩期における気候変動と土器型式の変化」
2010年 3月	論文	『研究紀要』第18号, 栃木県埋蔵文化財センター	工藤雄一郎「寺野東遺跡から出土した縄文時代後・晩期の木組遺構の年代——特に研究の方法について——」
2010年 3月	論文	『国立歴史民俗博物館研究報告』158,	工藤雄一郎・佐々木由香「東京都東村山市下宅部遺跡から出土した縄文土器付着植物遺体の分析」
2010年 5月	動向	『縄紋時代』21	小林謙一「2009年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2010年 5月	研究発表	『日本考古学協会第76回総会研究発表要旨』	遠部慎「西日本押型文土器期の貝塚の年代学的研究」
2010年 6月	論文	『古代文化』第62巻第1号	原寛・遠部慎・宮田桂樹・村上昇「椀の湖遺跡採集土器の炭素 14 年代測定」、山下大輔「南九州における貝殻円筒形土器と押型文土器の関係」

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2010年 6月	研究発表	『日本文化財科学会第27回 大会研究発表要旨集』	遠部慎・宮田佳樹・小林謙一「東海地方における縄文時代草創期から早期の年代測定」、西本寛・高田秀樹・木村勝彦・中村俊夫「AMS ¹⁴ C年代測定及びウイグルマッチングを用いた石川県真脇遺跡出土環状木柱列の高精度編年研究」、大森貴之・西本寛・中村俊夫「較正解析プログラム OxCal の日本語化について」、國木田大・吉田邦夫「クッキー状炭化物の由来解明とその年代」、國木田大・吉田邦夫・大貫静夫・佐藤宏之・熊木俊朗・福田正宏・内田和典・森先一貴・A. konopatskii「ロシア・アムール流域における過去一万年間の文化編年」、山本直人・水野瑩「炭素14年代測定法による縄文早期三引遺跡の存続期間に関する一試行」
2010年 8月	論文	『静岡埋蔵文化財調査研究所紀要』16	三好元樹「愛鷹・箱根山麓の旧石器時代 ¹⁴ C年代の集成と検討」
2010年 9月	研究発表	『第5回年代測定と日本文化研究シンポジウム予稿集』株式会社加速器分析研究所	坂本稔「較正曲線と日本産樹木—弥生から古墳へ—」、早瀬亮介・小原圭一「土壌試料の ¹⁴ C年代測定における前処理方法と測定値の関係—笹山原 No. 16 遺跡採取土壌を例に—」
2010年 9月	論文	Radiocarbon Vol. 52 Nr.2-3,	Kunio Omoto, Kenji Takeishi, Shigeru Nishida, and Junichi Fukui, Calibrated ¹⁴ C ages of Jomon sites, NE Japan, and their significance
2010年 10月	単行本	小林圭一『亀ヶ岡式土器成立期の研究—東北地方における縄文時代晩期前葉の土器型式—』	
2010年 10月	研究発表	『第64回日本人類学会大会抄録集』	遠部慎「山陰地方におけるアカホヤ前後の土器附着炭化物の炭素14年代測定」
2010年 10月	論文	『古文化談叢』第65集	岡田憲一・河仁秀「韓半島南部終末期櫛文土器と縄文土器の年代的併行関係—韓国・東三洞貝塚出土の縄文土器を中心に—」
2010年 11月	研究発表	『第14回動物考古学研究集会発表要旨』	遠部慎・畑山智史「浜の町貝塚の年代学的研究」
2010年 12月	単行本	西日本の縄文土器 後期』千葉豊編, 真陽社	泉拓良・千葉豊「総論 西日本縄文後期の土器」
2011年 1月	研究発表	『第13回 AMS シンポジウム報告書』	小林謙一「狛江市舟舳天池遺跡の火災住居における炭素14年代測定」
2011年 1月	論文	Radiocarbon, Vol53, No1	Y. Maniatis, S PaPadopoulos, ¹⁴ C dating of a final Neolithic-early bronze age transition period settlement at Aghios Ioannis on Thassos (North Aegean)

縄紋研究における炭素 14 年代測定の研究年表（小林）

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2011年 2月	論文	『植生史研究』第18巻第2号	工藤雄一郎・百原新・中村俊夫「エタノール溶液で保存した植物遺体の ¹⁴ C年代測定について— ¹⁴ C年代に与える影響の有無に関する比較実験—」
2011年 2月	単行本	小林謙一・工藤雄一郎『縄文はいつから!?地球環境の変動と縄文文化』新泉社	2012/12 増補版
2011年 3月	論文	『静岡埋蔵文化財調査研究所紀要』17	三好元樹「静岡県における縄文時代の ¹⁴ C年代の集成と検討」
2011年 3月	論文	『飛ノ台史跡公園博物館紀要』第8号	小林謙一・坂本稔「船橋市飛ノ台貝塚出土試料の炭素14年代測定」、小林謙一・坂本稔・道上文「船橋低地における埋蔵文化財調査出土貝類の炭素14年代測定」
2011年 3月	論文	『資源環境と人類』1, 明治大学黒曜石研究センター	叶内敦子・杉原重夫・小野昭・会田進・島田和高・橋詰潤「鷹山盆地堆積物の層序と放射性炭素年代」
2011年 3月	論文	『紀要』史学第56号 中央大学文学部	小林謙一「縄紋時代盛土遺構の炭素14年代測定研究」
2011年 3月	その他	『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書』XXII	藤雄一郎・白石浩之・中村俊夫「愛知県田原市宮西遺跡から出土した縄文時代草創期の土器付着物および炭化材の ¹⁴ C年代測定(2)」, 水野蛭「静岡県富士石遺跡における縄文早期土期のAMS炭素14年代測定」, 本佳納, 千葉敏郎, 工藤雄一郎, 中村俊夫「東京都東村山市下宅部遺跡から出土した漆の ¹⁴ C年代測定」, 宮田佳樹, 南雅代, 中村俊夫「見かけ上の炭素年代差を用いた環境解析—淡水湖産貝, 骨試料を例として—」, 南雅代, 宮田佳樹, 中村俊夫「段階的加熱を用いた ¹⁴ C試料調整」
2011年 3月	論文	『特別史跡三内丸山遺跡年報—14—』平成22年度	國木田大・吉田邦夫「三内丸山遺跡第32次発掘調査資料(環状配石墓・盛土状遺構)の ¹⁴ C年代測定」
2011年 3月	論文	『石川考古学研究会々誌』54	工藤雄一郎・山本直人・中村俊夫「中屋サワ遺跡から出土した木質遺物の ¹⁴ C年代測定」
2011年 3月	その他	『八戸市博物館研究紀要』第25号	小林謙一・村本周三・遠部慎・坂本稔・松崎浩之「八戸市一王寺遺跡出土土器付着物の ¹⁴ C年代測定」
2011年 3月	単行本	『情報の歴史学』研究叢書52, 中央大学人文科学研究所編	小林謙一「縄紋時代における情報伝達—土器型式・炉型式の分布拡大の速度—」
2011年 3月	論文	『東北芸術工科大学東北文化研究センター研究紀要』10	辻誠一郎「縄文時代前・中期の三内丸山集落生態系史」, 安斎正人「縄紋時代早期論(上)」
2011年 4月	論文	『北海道考古学会 2011年度研究大会 北海道の縄文文化研究の今』	國木田大「北海道における縄文時代年代研究の現状と課題」

年	種別	文献	著者・論文・特記事項
2011年 5月	動向	『縄紋時代』22	小林謙一「2010年の縄文時代学界動向 関連科学 年代測定」
2011年 5月	研究発表	『日本考古学協会第77回総会研究発表要旨』	新美倫子・猪熊樹人・大谷茂之「北海道の縄文時代前期—温根沼式土器の年代—」、中村耕作・吉田邦夫「縄文時代中期釣手土器の付着炭化物」、阿部昭典・國木田大・吉田邦夫「縄文時代の鐸形土製品付着物の自然科学的分析」
2011年 5月	その他	『利根川』33	一木絵理・國木田大・吉田邦夫・辻誠一郎「群馬県板倉町寺西第二貝塚出土遺物の放射性炭素年代」
2011年 6月	論文	『考古学研究』58-1	工藤雄一郎「東黒土田遺跡の堅果類と縄文時代草創期土器類の年代に関する一考察」
2011年 6月	その他	『東京の遺跡』95, 東京考古談話会	小林謙一「縄紋集落における時間」
2011年 7月	論文	Radiocarbon, Vol53, No3	Y. Maniatis, Ch Ziota, Systematic ¹⁴ C dating of a unique early and middle bronze age cemetery at Xeropigado Koiladas, west Macedonia, Greece
2011年 8月	研究発表	『日本第四紀学会 2011年大会研究発表要旨』	宮入陽介・横山祐典・松崎浩之「北海道周辺海域の ¹⁴ C ローカル海洋リザーバー効果の補正法」、奥野充・中村俊夫・及川輝樹・苅谷愛彦「放射性炭素(¹⁴ C)年代をどのように報告するか?」
2011年 11月	研究発表	『65回日本人類学会抄録集』	伊達元成, 青野友哉「有珠4遺跡人骨の年代学的モデルの再検討」
2011年 11月	研究発表	『蒼き森の五千年 日本植生史学会第26回大会講演要旨集』	小林和貴・鈴木三男・能城修一・工藤雄一郎・鯉本真友美・網谷克彦「鳥浜貝塚遺跡から出土したウルシ材の年代」
2011年 11月	論文	Journal of Archaeological Science, 38 (11)	Akiko Horiuchi, Nobuo Ochiai, Hitomi Kurozumi, Yoshiki Miyata 2011 Detection of chloride from pottery as a marker for salt:A new analytical method validated using simulated salt-making pottery and applied to Japanese ceramics,
2011年 11月	研究発表	『第12回関西縄文研究会押型土器の諸相』	遠部慎「西日本における押型土器群の年代とその環境」
2011年 12月	単行本	谷口康浩『縄文文化起源論の再構築』同成社	「青森県大平山元1遺跡の ¹⁴ C年代・較正暦年代」
2012年 2月	単行本	工藤雄一郎『旧石器・縄文時代の環境文化史高精度放射性炭素年代測定と考古学』新泉社	